

広島大学経営協議会学外委員からの指摘事項への対応のうち、特筆すべき事項

1 広報の充実

(1) WEBサイトのリニューアル

本学の公式WEBサイトは、平成 15 年からワープロ感覚でホームページが作成できるコンテンツ管理システム（CMS）を導入し、現在では、総合大学にしてはめずらしく統一された形で情報発信が行われている。

しかし、情報更新の遅延や多言語対応等には課題があるとの指摘を受けており、その主な原因として、利用者視点の欠如と全学横断的な広報活動に対応する体制が不十分であることが挙げられる。

そこで、本学の広報活動を全学的立場から戦略的に推進するため、全学的組織として「広報企画戦略会議」を設置し、本学の広報活動の方針及び推進体制を定めた。また、これに基づき、公式WEBサイトの掲載基準の見直し、情報の分類化・ラベリング及び配置の変更を行った。

(2) 学生・保護者への財務状況の説明等

大学にとっての顧客である学生・保護者に対する財務状況の説明等を十分に行う必要があることから、まず、学生向けに、東広島キャンパス内カフェにて、「広島大学ファイナンスカフェ」として説明会を実施した。当日は、広大OB・OGの若手職員がプレゼンターとなり、事業仕分けで話題になった運営費交付金の見直しや授業料の使途などの話題も含め、広大の財政事情について、集まった50名を超える学生に説明した。

また、保護者に対しては、保護者向けのリーフレット版「財務レポート」を作成。この財務レポートは、保護者の方が知りたい、また保護者の方にお知らせしたい本学の経営・運営情報に絞った分かり易い表現に努めた。

教育内容、方法等については、特に保護者に対する説明が必要と考えられるが、学部新生保護者を対象に、入学式当日に学部別の懇談会を開催することにより説明を行うとともに、毎年5月には、前年度末までの単位修得状況並びに履修手続状況について、希望する保護者宛てに郵送にて通知している。今後、保護者向け広報紙「広島大学だより」等に、広島大学で展開している教育内容を積極的に掲載する。就職支援については、保護者の就職に対する不安をできるだけ解消することを目的として、就職支援内容の情報提供及び現在の就職状況を概説した保護者向け冊子を3月に配付した。学生を対象としては、従来行ってきた諸対応に加えて、新設した学生プラザを利用して学生の相談体制の整備を図る。

詳細については、以下のページを御覧ください。

○ファイナンスカフェ

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/lang/ja/id/6983>

○財務レポート

http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/houjin/jyoho/p_wv1zq5.html

2 海外留学の促進

(1) 各種留学プログラムの設定、留学支援制度の創設

国際交流や留学への関心を高めるきっかけ作りを目的に、海外経験の少ない学部1年生を対象とする **START** プログラムを開始した。同プログラムに参加した学生は、プログラム終了後、各自で大学が提供する語学研修プログラムや **JICA** のスタディツアー、ボランティア活動、個人旅行などの様々な海外渡航の機会を作っているほか、会話パートナーや国際交流ボランティアなど、学内での国際交流活動にも積極的に参加している。その他、大学院生の海外派遣については、修士レベルのダブル・ディグリー・プログラム、学部学生の海外派遣については、短期交換留学プログラム(**HUSA**)などを実施している。

また、平成23年3月以降、①留学案内パンフレット「留学のススメ」の発行・配布、②留学案内週間（留学**WEEK**）の開催、③留学経験学生を留学アドバイザーとして雇用し、学生プラザに留学相談窓口を設置、④留学関連説明会の開催、⑤留学報告会の開催等、各種新規の取り組みを行っており、派遣留学生数は着実に増加している。

さらに、独立行政法人日本学生支援機構が留学生交流支援制度（奨学金制度）に平成23年度から新設した「ショートステイ・ショートビジット」に積極的に申請し、数多くの採択を受けるなど、留学に関する奨学金についても充実を図っている。

詳細については、以下のページを御覧ください。

○留学プログラム、留学支援制度の概要

<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/study-abroad.html>

3 学生に対する経済支援策の充実

(1) 各種奨学金制度の創設

国立大学の授業料免除制度は、国から措置される授業料免除枠での運用となっている。したがって、一大学の判断でこの枠組みの拡大や制度の廃止については限界があり、経済的困窮学生への経済支援を拡大するには本学独自の奨学金を充実しなければならない。

最近の取組としては、平成19年12月に「広島大学基金」を立ち上げ、成績は優秀だが経済的理由により大学進学を断念せざるを得ない学生に本学への進学機会を提供するための経済的支援を行う「フェニックス奨学制度」を創設した。

また、急激な円高の影響で困窮している私費外国人留学生16人に対し、本年1月に、緊急経済支援策として、総額130万円の一時金を支給した。

さらに、東日本大震災で被災した学生に対して、経済支援に関する相談窓口を設置するとともに、授業料免除（25名）及び入学料（1名）の全学免除を実施した。

詳細については、以下のページを御覧ください。

○奨学金制度の概要

<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/financial.html>